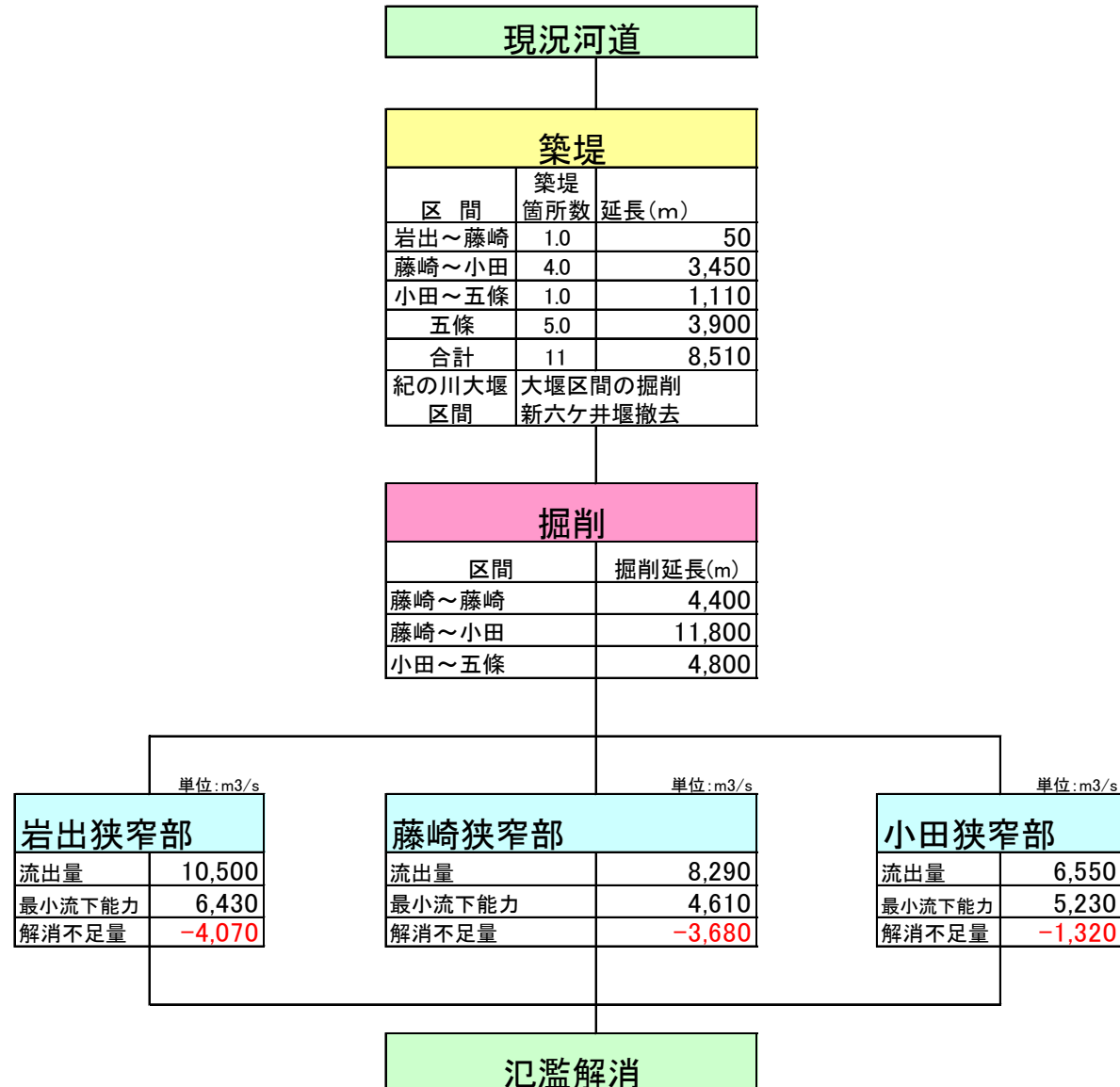


## 2-3 昭和47年9月型洪水 (伊勢湾 × 1.1)

# 昭和47年9月型洪水(伊勢湾 × 1.1)

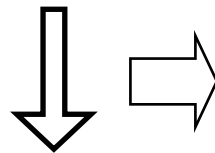


# 昭和47年9月型洪水(伊勢湾 × 1.1)

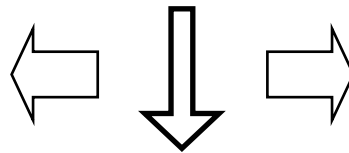
(整備による効果)

(課題)

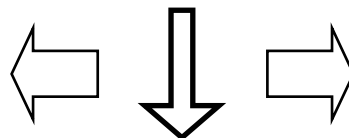
現況河道



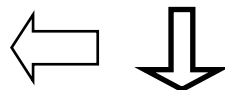
築堤 (11地区  
8,510m)



掘削 (21,000m)



狭窄部対策  
(3箇所)



氾濫被害解消

- 全川で22.92km<sup>2</sup>の氾濫 (33.64km<sup>2</sup>の減少)
- 氾濫25ブロックが17ブロックに減少
- 床上: 6,810世帯、床下: 1,350世帯 (床上: 38,240世帯、床下: 8,100世帯減)
- 紀の川大堰による効果大

- 全川で13.09km<sup>2</sup>の氾濫 (9.83km<sup>2</sup>の減少)
- 氾濫17ブロックが11ブロックに減少
- 床上: 2,870世帯、床下: 740世帯 (床上: 3,940世帯、床下: 610世帯減)

- 氾濫解消

- ▼ 全川で56.56km<sup>2</sup>の氾濫 (29ブロックの内の25ブロックで氾濫)
- ▼ 床上: 45,050世帯、床下: 9,450世帯 (橋本右岸上流第一、橋本右岸中流第一、橋本右岸下流、貴志川右岸上流、下流左岸、住吉川、下流右岸第二ブロックで被害大)

- ▼ 築堤による流出増により新たな氾濫ブロックの発生及び中流部の氾濫面積増大
- ▼ 五條右岸中流ブロック、九度山、慈尊院ブロックで1km以上の築堤

- ▼ 狭窄部で氾濫残
- ▼ 岩出井堰、藤崎井堰の対策が必要

※築堤、掘削延長:概算値